

第 243 回理事会報告 (つづき)

新規現職会員 173 人(253 口)に

30 年度の新規加入は 173 人 (253 口) でした。前年度には及びませんでした。以前の加入者が低迷した時期に比べ堅調に推移しています。これも現職会員拡大のために構成四団体が積極的に働きかけていただいた成果と感謝いたします。退職会員のみなさまにも、機会があれば現職の方々に本会の良さをお伝えいただければ幸いです。

観劇会の実施について

10 月 11 日 (木) に御園座で実施しました第 1 回観劇会 (歌舞伎顔見世興行) は、302 名の申込者で、参加者は 290 名でした。第 2 回観劇会は、広報第 95 号でお知らせいたしましたように、中日劇場閉鎖にともない中止といたします。ご了承ください。

新規退職会員 243 名 (339 口)

243 人 (339 口) の方が退職会員に移行されました。移行率は約 7 割で、一時期の 5 割程度まで下がった状況に比べ大幅な改善が続いています。移行率が回復してきた背景には、本会の財政が堅調に推移していることが大きく、今後とも本会の安定的財政運営が欠かせないものと考えています。

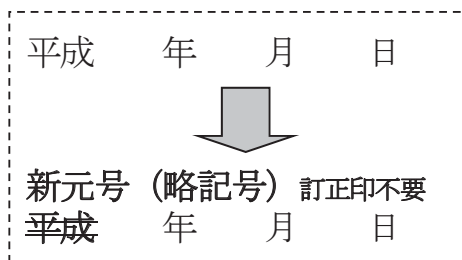
退職互助会説明会について

本年度退職予定者を対象に、9 月 22 日 (土) に岡崎市民会館で、10 月 13 日 (土) に愛知県教育会館で行われました。配偶者の方の同伴を含め、両会場を合わせて 244 名の方が参加され、本会への期待の高さを感じました。

療養補助金請求書等の新元号への対応について

来年 5 月より平成から新元号となります。その対応についてお知らせします

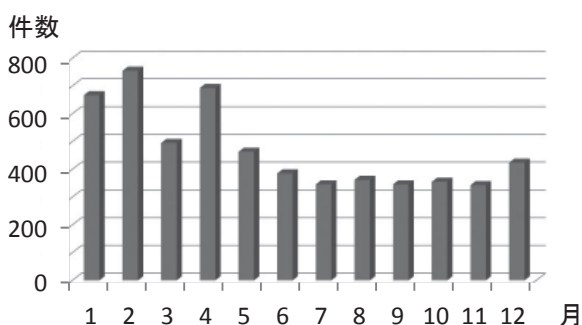
現在お持ちの療養補助金請求書には「平成」の元号が、印刷されていますが、新元号への変更後は、「平成」の元号に二本線をお引きいただき、上に新元号あるいは新元号の略記号 (アルファベット 1 文字) をお書きください。その際、訂正印は必要ありません。お手数をおかけしますが、よろしく願いいたします。



本会が西暦表記ではなく元号表記を用いておりますのは、療養補助金送金等を依頼している銀行が西暦表記でなく元号表記を用いているためです。この点もあわせてご理解くださいますようお願いいたします。

療養補助金の請求の分散 (誕生月での請求) にご協力ください

療養補助金の請求はみなさまのご協力をいただきかなり平準化してまいりました。ありがとうございます。過去 3 年間の請求件数の月別平均を右に示しました。まだ多い月と少ない月には 2 倍程度の差がありますので、一層のご協力をお願いいたします。



全教互・陳情署名活動にご協力ありがとうございました

本会が加盟している全国教職員退職互助団体協議会は、毎年社会保障制度の維持と充実等を求めて国会に向けて陳情署名を行っています。本年度も 7 月発行の広報 95 号と一緒にお届けした「国民が安心して暮らせるための社会保障制度の確立等を求める陳情」署名用紙に 1008 名の方々の署名をいただきました。今後も年金・医療等の社会保障制度の充実を求めて努力していきます。多くの退職会員のみなさまのご協力に感謝するとともに、来年度も是非ご協力をお願いいたします。